

「2003年7月から2010年12月までに川崎医科大学附属病院で肺がんと診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

「川崎医科大学における肺癌手術後の再発形式に関する研究」について

当教室では、2003年7月より2010年12月までに、川崎医科大学附属病院で肺がんと診断され手術を受けられた患者さんについて、診断時の検査成績と手術標本の結果がその後の治療経過（再発）にどう影響するかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、肺がんの予後に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はCTやMRI, PETなどの画像および手術標本を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の間い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の間い合わせ先にご相談下さい。

この研究に対する説明を御希望の方は、川崎医科大学附属病院呼吸器外科ホームページから電子メール、または川崎医科大学附属病院代表(086-462-1111)から呼吸器外科教室(内線 25519) まで連絡をお願いいたします。

【担当者：清水克彦】